

広島大学医学集談会

(平成17年10月6日)

—学位論文抄録—

1. Distorted images of one's own body activates the prefrontal cortex and limbic/paralimbic system in young women : a functional magnetic resonance imaging study

(若年女性における自己の変形身体イメージによる前頭前野と大脳辺縁系/傍辺縁系の賦活化：機能的磁気共鳴画像研究)

黒崎 充勇

創生医科学専攻先進医療開発科学講座 (精神神経医科学)

若年の健常女性と男性を対象に自己身体画像を用いた課題遂行時の脳活動を機能的磁気共鳴画像装置を用

いて測定し、変形身体イメージ刺激の認知に関わる脳領域の同定とその性差について検討した。この研究は倫理委員会による審査後、対象者から文書による同意を得た後に行われた。対象は年齢・Body Mass Index・Eating Disorder Inventory-2 総得点を一致させた右利きの健常男女各11例である。行動指標として、女性は肥満イメージをより不快と選択する傾向が認められた。脳活動に関して、男性では課題遂行時に一次、二次視覚野、および側頭葉、頭頂葉の視覚経路の活動が認められたのに対して、女性では前頭前野、大脳辺縁系、傍辺縁系の活動が認められた。今回の結果から身体イメージ刺激の脳内処理過程は男女で異なっており、女性は男性に比べ、自分の体型に情緒的により強くとらわれていることが示唆された。